

# 2020年（令和2年）東北花紀行 1



## 序章

・昨年からはじめた「花紀行」ですが、ことしは春から始まった新型コロナウイルスの影響で計画していた行動ができなくなりました。

7月初めから恒例の北海道回りをしようと計画していましたが、北海道にも新型コロナウイルスの感染者が多発しているため、今年の北海道は中止して、東北を回ることになりました。ところが新型コロナウイルスに加えて今年は梅雨前線が停滞したまま一向に梅雨明けにならず、毎日雨が降り続くという最悪の状態になり、なかなか出かけられません。天気図と天気予報を毎日睨めながら、梅雨前線が南下して東北に雨が降らない時を7月15日から数日間と予想して、今年一回目の花紀行に出かけました。

7月15日から出かけて16日に岩木山、17日に八甲田山、18日に八幡平を歩き、初夏の花々に出会ってきました。予想は見事に的中して毎日晴天に恵まれました。今回第一の目的だった「岩木山のミチノクコザクラ」も最盛期の花々に出会えて今回の花紀行の目的を十分に果たすことができました。ただどういいうわけか行きの中からは腰が痛くなり、痛みを堪えながらの山行で十分歩き回ることができなかつたのが心残りです。

## 「2020年 東北花紀行 1」

○令和2年(2020年)7月15日(水) 曇り

厚木 IC から圏央道を走り久喜白岡から東北道に乗り秋田の花輪 SA まで

朝8時15分に家を出発し厚木 IC から圏央道を走る。いよいよ今年の花紀行の始まりだ！今日の車中泊予定地は明日登る予定の「岩木山」に近い、東北道のサービスエリア「秋田の花輪」にしてある。700 km弱の長丁場だ。所要予想時間は8時間から9時間、19時か20時頃に着けばいいので時間的余裕は十分ある。途中何回も休みながらのんびり走れる。

(高速を降りて岩木山近くの道の駅で車中泊も考えたが、コロナウィルスの感染が少ない東北各県に湘南ナンバーの車を止めたら、何を言われるかわからず怖いので、初日は日本中の車が走る高速道路のサービスエリアを使うのが無難だろうと考えた。)

久喜白岡ジャンクションで圏央道から東北道に入る(9:45)。平日だからかコロナウィルスのせいなのか、道路は空いていて走行車線を時速80 km位のマイペースで走れる。大谷 PA、阿武隈 PA で休憩し12時半に安達太良 SA に到着、フードコートでミニカツ丼の昼食をとってゆっくり休憩した。花輪 SA に電話して「夕食が摂れるか」聞いたところ「19時まで」とのこと、いま13時だから少々急がないと晩飯に間に合わないぞ。ちょっとスピードを上げて時速100 kmで走るが、車は少ないし道は良いので全然スピード感がない。約1時間ごとに休憩しながら目的地の花輪サービスエリアに17時半に到着した。夕食に余裕で間に合った。

ここまで来るとサービスエリアといってもパーキングエリアに毛が生えたようなもの、小さな食堂に小さな売店があるのみ、ガソリンスタンドは無い。一つ前の岩手山サービスエリアで給油してきたよかった。700 kmも走ったので、ガソリンタンクがカラカラだった。

こんな食堂だから、気の利いた食事など期待しても無駄、定番の生姜焼き定食をいただいた。今18時40分、やや暗くなってきた。車は数台しか見当たらない。寂しい SA だ。今日は車中泊の仲間がいるのかな？ ビールのロング缶を飲んで今日の行動を終えた。



人も車も少ない寂しい花輪 SA



○7月16日(木) 晴  
岩木山・ミチノクコザクラ

4時起床。天気は良さそうだ。暑かったのか寝汗をかいて汗びっしょりだ。周りを見ると、昨夜あれほど寂しかったこの駅は、車中泊と思われる乗用車は私の他に2台しかいないが、流通のトラックがいっぱいで、ところ狭しと並んで止まっている。彼らはこういうSAやPAで寝泊まりしながら日本中を走っているのか、大変だな。

歯磨き、洗顔し、寝具をたたんで、テレビを見ながら朝食をとる。天気は快晴だ。6時30分 花輪SAを出発した。朝日を浴びながら東北自動車道をしばらく走り、高速を大鰐弘前ICで下りて今日の目的地「岩木山」へ向かう。岩木山は麓の岩木山神社から登ると標高差1500mくらいあるが、岩木山スカイラインという有料道路を使うと一気に8合目まで登ってしまう。8合目には広い駐車場と売店やトイレなどの施設が整備されている。ここからは山頂まで標高差350m、2時間弱で登れる。8合目駐車場からは山頂近くまでリフトがあり、このリフトを使えば標高差150m、1時間かからずに山頂に立てる。

大鰐弘前ICを降りて弘前市内を岩木山に向かって走ると、富士山に似たその姿から津軽富士と呼ばれる岩木山が目の前に現れた。青空を背にして聳えるその姿は実に美しい。



道は岩木山神社の前を通るので寄ってみたが、神社までの参道が長いので、鳥居の前から遠くの神社に向かって拝礼してスカイライン入口へ向かった。



7時半に料金所前に到着。スカイラインの通行は8時からなので、通行待ちの車が数台列を作っていた。8合目までは岩木山の斜面に整然と作られた九十九折(まさに99くらいありそう)を20分足らずで登ってしまうが、よくもこんなに作ったものかと感心しながらハンドルを右に左にと切りっぱなしで登った。

平日とは言え、登山シーズンだし天気も良いし、例年なら料金所が開くまでに数十台の車が並ぶだろうが、今日は私を入れて7台しか登らなかったので広い駐車場はガラガラ。コロナウィルスの影響だろうか?木曜日はリフトが運休なので登山者だけで、観光客がいないということもあるのだろう。なにしろすいていてよかった。

登山支度を整えて登山口へ向かう。樹林帯の中の登山道は意外に急坂であり花もなく、けっこうしんどい登りが続く。リフトなら10分くらいで登ってしまうだろうが、樹林を抜けたリフト終点まで50分近くかかった。



樹林帯を抜けると一気に展望が広がり、夏の太陽が熱く照り付けて汗が噴き出す。



全く木陰のない岩だらけで歩き難い急坂を 20 分歩いて岩木山神社から登ってくる登山道との分岐に立つ「鳳鳴ヒュッテ」についた。

ここから山頂まで同じような岩だらけの急坂を 30 分弱登り、やっと山頂に到着した。



めちゃ苦しかった。十年くらい前に登った時はこんなに苦しかった記憶は全くないが、やはり年には勝てないをつくづく思った。

山頂には1組のご夫婦と男性1人しかいなかった。以前来たときは山頂は立錐の余地がないほど混雑していた記憶があるが、コロナウィルスとリフト運休の影響がこんなにあるのかと驚いた。山頂の岩木山神社奥の院にお参りして、すぐに下山した。

今日の目的はミチノクコザクラに会うことなので群生地へ急いだ。



鳳鳴ヒュッテから岩木山神社登山道を下り種蒔苗代へ向かった。と、どうだろう！すぐにミチノクコザクラが現れた。開花のタイミングとしてはまさにベストだったようで、種蒔苗代まで一面に咲き揃い、大挙して私を迎えてくれた。夢中で写真を撮りまくった。



私に挨拶しに来たのか、白花のミチノクコザクラまで現れ、クジャクチョウが蜜を吸いながら飛び回っていた。

種蒔苗代の池端で昼食をとったが、ここはたまに登山者が通るだけで誰もいない実に静かな別天地だ。昼近くなるとやはり山には雲が湧き、山頂がガスで見え隠れするようになった。12時前に下山開始。ミチノクコザクラに名残惜しく写真を撮りながら鳳鳴ヒュッテまで登り、朝登って来た道を8合目駐車場まで戻ったら広い駐車場には4台しか止まっていなかった。



大汗をかいたので汗を流すためすぐ近くの百沢温泉へ。脱衣所で「岩木山でお会いしましたね」とおじさんに声をかけられた。私は全く記憶ないので適当に相槌を打って湯船につかった。よく覚えているものだな。昔ながらの湯治場の温泉で、浴槽のヒノキの枠はボロボロだし当然洗い場などない。浸かって汗を流すだけ。43℃は超えているだろうと思われる熱い茶色の湯だが、気持ちよくてゆっくり入った。

今日の車中泊予定地は道の駅「いなかだて」。3時過ぎについて広い駐車場を見ると、あまり車は止まっていないが、ほとんどが青森ナンバーの車だ。コロナウィルスこともあり湘南ナンバーの私の車は気が引けるので、隅のほうに遠慮して止めさせてもらった。天気は良いが気温が低くて気持ちがいい。4時過ぎから飲み始め夕食に入った。いつもなら外に椅子を出して食事をするのだが、今回はそうも行かず、車中の運転席で済ませた。とにかく新型コロナウィルスのため、感染の少ない東北では、すべての行動がやりにくい、しょうがないか。





今日は今回の花紀行の目的が120%達成できて言うことない。

これから後はおまけの旅のようなものだ。

明日は八甲田山だ。天気も良さそうだ。

\*\*\*\*\*

ミチノクコザクラの写真

\*\*\*\*\*



クジャクチョウが蜜を吸っている



シロバナミチノクコザクラ